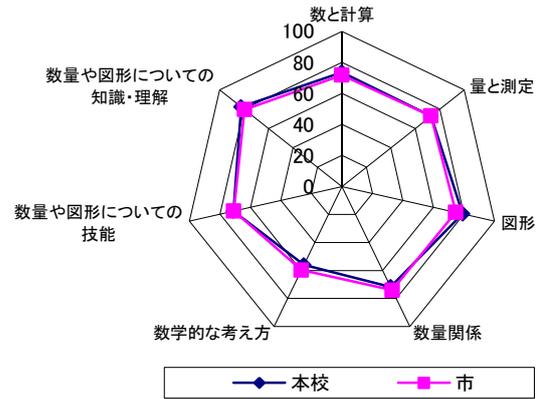


宇都宮市立平石北小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	73.6	71.8
	量と測定	72.8	72.8
	図形	79.2	74.7
	数量関係	71.7	74.1
観点別	数学的な考え方	56.1	59.7
	数量や図形についての技能	71.1	70.9
	数量や図形についての知識・理解	82.4	79.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は73.6%で、市の平均を1.8%上回っている。2桁÷1桁の計算の仕方が正しく身に付いており、正答率が90%を超えている。反面、かけ算の計算に間違いが見られる。計算の仕方を論理的に説明するのは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルやプリントを使って、繰り返し計算練習に取り組みさせることにより、早く正確に計算できるようにする。また、ミニテストを定期的実施することにより、習熟を図る。計算の仕方を機械的に覚えるだけでなく、常にどうしてそうなるのか理由を考えながら計算練習に取り組みさせる。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は72.8%で、市の平均と同じである。長さについては、測る物に合った単位を適切に選択したり、いろいろな単位を比べて長短を判断したりすることが正確にできる。時刻を読むことはできるが、2つの時刻を比較して、その間の時間を正確に求めたり、ある時刻から時間をさかのぼって時刻を求めたりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻や長さの学習は、実生活と関連づけて指導することが大切である。普段から、時刻や時間・長さを意識して生活させることにより、時計を読んだり、時間をさかのぼって時刻を求めたり、長さを正確に測ったりできるようにする。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は79.2%で、市の平均を4.5%上回っている。直方体の辺の性質については正しく理解しているが、面の特徴についてはやや理解できていないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるいろいろな形について、辺や面に着目して、その特徴をとらえられるように指導する。3年生の学習では、定規やコンパスの使い方を理解させるとともに、正しい図形をかけるようにする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は71.7%で、市の平均を2.4%下回っている。棒グラフでは、各項目の人数を正確に読み取ることができる。□を使った式では、文章問題の意味を正しく理解することができないため、式に表すことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題の意味を正しく理解させるために、大切な言葉に線を引かせるなど、問題の読み取り方を再度指導する。類似問題に繰り返し取り組みさせることにより、□を使った式の理解を深める。